

平成28年度

事業報告

ふしの学園第2宮野の里

目 次

1	利用者の動向・・・・・・・・・・	1
2	健康管理・・・・・・・・・・	3
3	生産活動支援・・・・・・・・・・	6
4	生活支援・・・・・・・・・・	6
5	行事・社会参加活動支援・・・・・・・・	9
6	保健・給食・安全・・・・・・・・	11
7	短期入所事業、日中一時支援・・・・	14
8	保護者との連携・・・・・・・・	15
9	苦情処理・・・・・・・・	15
	(苦情解決第三者委員への報告)	
10	施設の管理運営・・・・・・・・	16
11	職員の健康管理・・・・・・・・	18

1 利用者の動向

第2宮野の里における入所利用者の年齢構成については、19歳から78歳までと年齢差が大きく、また、平均年齢が53.3歳（内、65歳以上8名）、障害支援区分5以上が13名と、なっている。

利用者の動向では、平成28年度当初入所者は現員26名（男性12名、女性14名）で定員は30名（男性15名、女性15名）であったが、平成28年4月以降、男性1名（死亡）女性2名の退所者（他障害者支援施設転所）があったため、平成29年3月31日現在では23名（男性11名、女性12名）の入所者となった。

(1) 年齢構成（平成29年3月31日現在）

性 別	70歳代	60歳代	50歳代	50歳：未満	計
男 性	3	2	1	5	11
女 性	3	4	0	5	12
計	6	6	1	10	23

(2) 平均年齢（平成29年3月31日現在）

男 性	48歳 6ヶ月	女 性	57歳 9ヶ月	平 均	53歳 3ヶ月
-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3) 平均在園年数等（平成27年3月31日現在）

平 均 在 園 年 数	24年5ヶ月 (男性19年11ヶ月 女性28年3ヶ月)
開設当初からの在園	6名（男性3名、女性3名）
最 長 在 園 年 数 (宮野の里からの在園を含めて)	47年

(4) 障害支援区分状況（平成29年3月31日現在）

区分 2	0 名
区分 3	3 名
区分 4	7 名
区分 5	11 名
区分 6	2 名

(5) 家庭状況（平成29年3月31日現在）

両 親 あ り	2 名
片 親 の み	7 名
両 親 な し	14 名

(6) 療育手帳交付状況（平成29年3月31日現在）

手 帳 A	17 名
手 帳 B	6 名

(7) 身体障害者手帳交付状況（平成29年3月31日現在）

肢 体 不 自 由	0 名
視 覚 障 害	0 名
心 臓 機 能 障 害	3級1種 1 名
平 衡 感 覚 障 害	5級2種 2 名

(8) 入退所状況（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

入 所			退 所		
性別	年齢	入所年月日	性別	年齢	退所年月日及び退所理由
			女	71歳	5月17日 他障害者支援施設へ転所
			女	57歳	7月19日 他障害者支援施設へ転所
			男	68歳	8月 8日 死亡

2 健康管理

第2宮野の里は高齢化・重度化が進んできたことに伴い、体力の衰えと各種疾患の多様化から、生活習慣病による通院に加え、身体障害・精神疾患による通院も多くなってきており、健康面の支援が大変重要になってきている。

60歳以上の利用者も12名と全体の半数以上を占め、生活習慣病については、高血圧患者3名、糖尿病患者1名、高脂血症患者2名、特定難病疾患患者1名が内服治療中である。

また、精神疾患12名と、身体障害の重複者もいる。

この為、多くの疾病を抱えた利用者さんもいることから、内服薬の種類も多く適正な内服薬の管理に努めている。

また、高齢化・重度化は感染性疾患に対するリスクも大きくなることから、日ごろの保健指導の徹底と、インフルエンザ等の予防接種を全員に、肺炎球菌ワクチン接種を65歳以上の利用者に行い、感染予防対策に引き続き努めた。

(1) 入院の状況

年齢	性別	病名	病院名	入院期間
42歳	女性	インフルエンザ	県立総合医療センター	(平成28年3月28日～) 4月1日
77歳	女性	両目白内障	〃	4月5日～4月8日
28歳	男性	虫歯・親知らず抜歯	山口大学医学部付属病院	5月9日(日帰り手術)
68歳	男性	食道癌他	日赤病院	7月 7日～8月8日 (死亡退院)
75歳	男性	前立腺炎	日赤病院	8月19日～8月25日
42歳	女性	てんかん発作予防 手術前検査入院	県立総合医療センター	9月 5日～9月12日 12月12日～12月15日
42歳	女性	てんかん発作予防 脳外科手術	県立総合医療センター	平成29年1月10日～1月25日

(2) 通院の状況(延べ日数273日、15診療科)

内 科 (腎臓内科、循環器内科含む)	37名	皮膚科	20名	整形外科	4名
精神科	68名	眼 科	22名	耳鼻科	4名
歯 科	85名	外 科 (乳腺外科含む)	15名	泌尿器科	9名

(3) 健康診断・受診状況等

① 平成28年度定期健康診断の実施状況

実施年月日	平成28年 7月1日～7月31日	平成28年 7月1日～7月31日	平成28年 10月19日	平成29年 1月26日
実施場所	奥田胃腸科内科	奥田胃腸科内科	第2宮野の里	第2宮野の里
担当医師	奥 田 道 有	奥 田 道 有	児 玉 昭 彦	奥 田 道 有
検査項目	40歳以下 胸部レントゲン 心 電 図 血 液 科 血 聴 打 血 聴 打 尿 診 尿	40歳以上 胸部レントゲン 心 電 図 血 液 科 血 聴 打 血 聴 打 尿 診 尿 ※ 大腸癌検診 ※ 胃検査 ピロリ菌の検査	歯・歯肉 歯周囲	血 聴 打 尿 診 尿
対象者数	8 名	14 名	23 名	22 名
要経過観察	2 名	14 名	7 名	14 名
要精密検査	2 名	8 名	0 名	0 名
要 治 療	1 名	8 名	3 名	8 名

② 定期通院を要する者

内 科	11 名	眼 科	4 名	耳鼻科	1 名
精神科	12 名	泌尿器科	1 名	整形外科	2 名

③ 健康診断（月例健康診査）

診 察 日	対 象 者	医 師 名	診察内容	診察場所	備考
毎月 第4木曜日	入所利用者	奥田胃腸科内科 医師 奥田 道有	内科全般	第2宮野の里 保健室	

(4) 感染症発生状況

発生なし

3 生産活動支援

持続性・忍耐力を養い、働く喜びと勤労意欲の増進及び共同作業をすることにより他の利用者との協調性を養うことを目指して、利用者の体力や能力に応じた軽作業（箱折り作業）を実施した。

なお、これによる収入は各利用者へ支給した。

区 分	班員	作業収益	備 考
製 箱 作 業	23名	502,002円	・ 西村紙器・たまや製菓
園 外 作 業		8,000円	・ 墓掃除
収入合計		510,002円	・ 利用者への支給金（年2回） * 必要経費なし、利用者へ全額支給 一人平均 1,782円/月

4 生活支援

一人ひとりの年齢や障害の程度、健康状態等に十分配慮しながら、施設での生活に安らぎと潤いがあり、温かい心の通った家庭的なサービスの提供に努めた。

園内生活では、居室担当職員（支援員）を中心に、基本的生活習慣を身につけるため、衣類の整理整頓、身だしなみ、入浴、洗濯等の個別支援を積極的に実施した。

また、毎月1回社会的な生活習慣の学習支援として市内のスーパーやレストラン等に行き、衣類や嗜好品などの買い物や食事等の外出支援をするとともに、生活全般における自主自立の心を育てるため、利用者自身による自治会活動の支援に努めた。

なお、毎月1回支援会議を開催し、個人毎のサービスやケースの検討、個別支援計画の見直し等を実施した。

(1) 年間目標

『思いやりの心で、お互いにいたわりましょう』

(2) 日常生活支援

実施日	場 所	支 援 内 容	備考
毎 日	各 居 室	洗面、寝具の片づけ、歯磨き、洗濯、挨拶 衣類の整理整頓、私物の整理、食事、入浴 爪切り、身だしなみ、掃除、その他日常生活に関する こと	

(3) 自治会活動支援

項 目	実施日	活 動 内 容	備考
自主活動	毎 日	利用者の希望のもと、利用者自身による活動 1 風呂当番 2 清掃活動（各利用者が分担して実施） 3 コーヒー当番（お湯沸し、コーヒー作り）	
自治会集会	毎 月 最終週に実施	寮生活上の諸問題、利用者間の問題等 学園に対する希望、要望等の話し合い	

(4) 外出支援

実施日	実施方法	支 援 内 容
毎月1回	班ごと実施 (3~4人)	1 買物支援 (衣類、本、菓子類、洗剤、ジュース類、嗜好品、 履き物等) 2 レストラン等での昼食支援等
そ の 他		1 利用者旅行（岡山方面 7月14日・15日） 2 オプション（墓参り、保護者面会等）

(5) 余暇活動支援

実施日	場 所	活 動 内 容	備考
毎月 1回～ 3回	園 内	カラオケ、調理、パンづくり、映画鑑賞、忘年会等	
	園 外	ドライブ 季節の花見、カラオケボックス等	
	食堂 ・作業室	祝福しケーキを食べる。誕生者がいない月に関しては、自治会活動として外出を実施。） レクリエーション	

(6) 支援会議開催状況

開催日	出席者	主 な 協 議 内 容	備考
毎月 第1金曜日	施 設 長 支援課長 主 任 支援員 看護師	1 年金元帳、小遣い帳写しの家族への送付について 2 各利用者ケース検討 3 利用者健康診断について 4 行事参加計画、調整、反省 5 研修の復命伝達 6 実習生の受け入れについて 7 成年後見制度の活用について 8 自治会活動について 9 ショートステイの受け入れについて 10 施設の安全管理について 11 その他利用者の支援に関する事	

5 行事・社会参加活動支援

園の生活に変化と潤いをもたせ生きがいや満足感のあるものとするため学園独自の季節行事を実施するとともに、関係団体が主催する各種行事に積極的に参加した。

また、地域社会と共に育ち、地域の人々に支えられて存立し、地域福祉のネットワークの中の施設として、地域行事への参加、福祉系大学からの実習生の受け入れ、学園広報誌の配布等、開かれた福祉施設づくりに努めた。

(1) 行 事

N o	行 事 名	開催日
1	利用者花見（維新公園・秋吉方面）	4月13日
2	山口県アイリンピック大会	5月21日
3	手をつなぐ親の会いきいき交流会	6月 4日
4	宮野ほたる祭り	6月11日
5	ナイスハートふれあいスポーツ広場（自動車総連主催）	6月12日
6	山口県知的障害関係施設親善球技大会	7月 1日
7	利用者旅行（1泊2日）岡山方面	7月14日 ～15日
8	第36回ふしの学園祭	11月12日
9	第28回山口県知的障害施設振興大会（長門市）	11月17日
10	利用者忘年会	12月16日

(2) 開かれた施設づくり

No	実 施 内 容	対 象 者 等	実 施 月 日
1	施 設 体 験 実 習	中村女子高等学校 4名	5月25日～6月 3日
2	ソーシャルワーク実習Ⅱ	山口県立大学社会福祉学部 1名	8月19日～9月 9日
3	一 日 見 学 実 習	山口芸術短期大学 16名	10月27日
4	ソーシャルワーク実習Ⅰ	山口県立大学社会福祉学部 3名	前半（2名） A：11月2・9・16日 B：11月30日 12月7・14日 後半（1名） A：2月20日～24日 B：2月27日～3月3日
5	一 日 見 学 実 習	山口芸術短期大学 24名	11月15日（12名） 11月16日（12名）
6	保 育 実 習	山口学芸大学教育学部 2名	平成29年 2月13日～24日
7	ふれあい型給食サービス事業 （平成12年10月5日からの 受託事業）	実施日：毎月1回（第1木曜日の昼食） 対 象：宮野地区在住の65歳以上の一人暮らしのお年寄り 実施主体：山口市 事業主体：宮野地区社会福祉協議会 受 託 料：70万円	
8	施設見学者受入	民生委員、総合支援学校、他施設保護者、職員等	
9	学園広報誌の発行	行政、施設関係、地域の家庭へ広報紙「ふしの学園だより」を、年3回発行・配布	

6 保健・給食・安全

利用者の平均年齢が53歳となっており、このうち65歳以上の高齢者が8名、障害支援区分5以上が13名となっていることから、利用者の健康を確保することが最も重要である。

このため、定期的な健康診断、予防接種等を実施するとともに、利用者個々人の特性に応じた保健指導を充実する等、一人ひとりの健康管理を重視した支援に努めた。

給食では、個人毎に算出した栄養所要量に基づいた給食、食事の形態等、一人ひとりの健康に配慮した給食支援に努めた。

また、関係者による保健給食会議を毎月開催し、個人ごとの健康状態・県内での感染症や食中毒発生状況の情報交換や協議し、利用者の健康保持・感染症予防に努めた。

安全対策では、昼夜を想定した火災時・風水害時の避難訓練実施や、消防設備・電気設備の適正な維持管理に努めた。また、不審者の侵入を防ぐ等安全面の強化のため、夜間の施錠の確認・巡回を継続して行った。

(1) 体力の保持増進及び保健衛生指導

実 施 日	場 所	内 容	備考
平 日 毎 日	作業室	ラジオ体操、竹踏み	
毎月第3木曜日	作業室	3B体操（外部講師による体操）	
毎 日	居室棟	手洗い・うがいの励行、歯磨き指導、義歯の洗浄	

(2) 保健・給食月別実施状況

① 年間目標『健康の保持・増進・肥満予防』『手洗い・消毒の励行』

② 年間を通じた給食の実施方法

項 目	内 容
個人別栄養量	個人別栄養所要量を把握し、質量とも個人にあった食事を提供することにより、生活習慣病予防に努めた。
季節行事食	季節や行事にあった行事食などを実施し、より家庭的な食事の提供に努めた。

③保健給食月間業務
別表のとおり

月	保健給食月目標	保 健	給 食	そ の 他
4	○ 歯磨きをていねいにしましょう。 ○ 食器を持って食べましょう。	身長測定 体重測定 定期診療 (内科・神経科)	・ 個人別栄養所要量の設定 ・ 厨房内害虫駆除 ・ 春献立	保健給食会議
5		体重測定 定期診療 (内科・神経科)	・ 春献立 ・ 厨房内害虫駆除	保健給食会議 病虫害駆除 (館内) 受水槽清掃
6		体重測定 定期診療 (内科・神経科) 歯科検診	・ 初夏献立 ・ 厨房内害虫駆除	保健給食会議 水質検査 (上水、井水)
7	○ 汗をかいたら着替えましょう。 ○ 冷たい物を飲み過ぎないようにしましょう。	体重測定 定期診療 (内科・神経科) 大腸癌検診 健康診断 (前期)	・ 夏献立 ・ 厨房内害虫駆除	保健給食会議
8		体重測定 定期診療 (内科・神経科)	・ 夏献立 ・ 厨房内害虫駆除	病虫害駆除 保健給食会議
9		体重測定 定期診療 (内科・神経科)	・ 秋献立 ・ 厨房内害虫駆除 ・ 嗜好調査	保健給食会議

10	○ 身体をきれいに 洗いましょう。 ○ 腹八分を心がけ ましょう。	体重測定 定期診療 (内科・神経科)	・ 秋献立	保健給食会議
11		定期診療 (内科・神経科) 体重測定	・ 厨房内害虫駆除 ・ 秋献立	飲料水の貯水槽 の管理 水質検査 (上水) 保健給食会議
12		体重測定 インフルエンザ予 防接種 定期診療 (内科・神経科) 健康診断(後期)	・ 冬献立 ・ 厨房内害虫駆除	保健給食会議 病害虫駆除 (館内)
1	○ 風邪をひかない ようにうがい手洗 いをしましょう。 ○ 好き嫌いなく食 べましょう。	定期診療 (内科・神経科)	・ 冬献立 ・ 厨房内害虫駆除	保健給食会議
2		体重測定 定期診療	・ 冬献立 ・ 厨房内害虫駆除	保健給食会議
3		体重測定 定期診療 (内科・神経科)	・ 春献立 ・ 厨房内害虫駆除	保健給食会議

備考『保健／給食だより』は必要に応じて随時発行

(3) 安全対策

項 目	実施回数	実 施 内 容	業務委託先等
消防訓練 避難訓練	年 4回	消防訓練（機器取扱訓練含む） 避難訓練	学園で実施 （防火管理者選任）
電気工作物 点 検	2ヶ月毎 実 施	受電設備、構内電線路、非常用 予備発電装置等の点検	（財） 中国電気保安協会
消防設備 機器点検	年 2回	消防設備・機器点検 消防設備総合点検	（有） ハッタ防災山口

(4) 保健給食会議開催状況

項 目	開催 日	出席者	主 な 協 議 内 容
保健給食 会 議	毎月 第1金曜日	施設長 支援課長 主 任 看護師 栄養士 調理員	1 利用者個人毎の健康状態の把握 2 給食の摂食状況の把握 3 非常用食料の保管状況 4 献立に対する利用者の意見要望 5 検食の時間について 6 県内の感染症、食中毒発生状況把握 7 その他

7 短期入所事業（ショートステイ）、日中一時支援事業

項目	件数	延日数
短期入所	13	171
日中一時支援	0	0

8 保護者との連携

利用者に対するサービスの向上をはじめ、開かれた施設・信頼される施設づくりのため、保護者の皆さんや保護者会との連携に努めた。

また、保護者向けの広報誌を宮野の里と合同で発行し、各保護者へ配布した。

項 目	業 務 内 容
保護者会旅行	1 実施日 平成28年6月17日～18日 2 研修先 宇部市光栄会 宿泊地 若宮温泉「ホテルグランティア」 3 参加者 保護者、希望利用者、職員
保護者会・ 総 会 参 加	1 開催日 総 会 平成28年4月23日 保護者会 平成28年8月5日・12月22日 2 場 所 宮野の里会議室 3 参加者 保護者、職員
広報誌の発行	1 名 称 「糸でんわ」 2 回 数 毎月発行（第323号～第334号） 3 配布先・保護者ほか

9 苦情処理（苦情解決第三者委員への報告）

ふしの学園では、福祉サービスに関する利用者等からの苦情について適切に対応する必要から、苦情受付担当者及び苦情解決責任者を置くとともに、苦情解決に社会性や客観性を確保するため、第三者委員を設置している。

毎年「苦情解決委員・第三者委員会議」を開催し、苦情の状況等を報告している。平成28年度中は、4件の申し出がありそれぞれについて報告した。

(1) 苦情受付担当者等

名 称	職 名	氏 名	備考
苦情解決責任者	施設長	光永 淳	
苦情受付担当者	支援課長	岡崎 千恵美	
	生活支援員	右田 諒	

(2) 苦情解決第三者委員

氏 名	役 職
八尋 武夫	元山口家裁参与員、ふしの学園監事
平野 充好	京都女子大学教授、前山口大学副学長
伊藤ルリ子	人権擁護委員、元民生・児童委員

10 施設の管理運営

施設の経営に当たっては、第2宮野の里の経営の理念である「人権を尊重し、利用者の信頼と期待に応える支援を提供します」並びに経営の基本である「利用者のための全員参加による和やかな経営」のもと、毎月職員会議を開催し、施設全般についての運営、事業の計画・実施、施設設備の整備その他諸問題を検討協議し、職員全員の共通理解や周知徹底を図った。また、利用者へのサービス向上に資するため、職員の専門的知識や一般教養等の研修を計画的に実施した。

(1) 職員会議開催状況

開催日	主な協議内容	備考
毎月 第1金曜日	1 福利厚生事業の担当について 2 アイリンピック大会の参加について 3 在園者サービスについて 4 利用者支援に関する職種間の連携について 5 健康診断の日程と引率について 6 作業工賃について 7 利用者旅行について 8 余暇活動について 9 ふしの学園祭について 10 インフルエンザ 予防接種について 11 ノロウイルス対策について 12 交通事故、火災等の事故防止について 13 入所待機登録について 14 帰省簿の記入について 15 その他	

(2) 経費節減対策

対 象 品 目	内 容
プロパンガス、灯油 ガソリン及び軽油 精米	年間に大量購入する左記の物品について、数社の専門業者に見積りを依頼し、宮野の里と共同で単価契約を実施。価格改定の場合は、変更契約を実施。 プロパンガス：4社 灯油：2社 ガソリン・軽油：2社 精米：6社

(3) 職員の研修等

① 外部研修

No	研 修 会・会 議・大 会 名	開催地	開 催 月 日
1	中国地区知的障がい関係施設長会	山口市	4月21日
2	山口市地域自立支援協議会	山口市	4月22日・5月23日・6月28日 8月18日・9月29日・10月6日 10月30日・2月14日・3月10日
3	医療保健研究部会	山口市	4月26日・6月28日 10月20日・2月23日
4	施設長研修会	山口市	6月17日
5	社会福祉法人経営力向上セミナー	山口市	6月24日
6	相談支援従事者初任者研修	山口市	8月10日・11日
7	吉南三師会合同研修会	山口市	9月10日
8	産業廃棄物処理業者の許可申請に関する講習	山口市	9月15日・16日
9	吉南三師会合同研修会	山口市	9月10日
10	障害者支援施設部会研究会	山口市	9月15日
11	経理事務研究会	山口市	9月15日・2月21日 3月14日
12	セルフマネジメント研修	山口市	9月21日
13	虐待防止に関する研修会	山口市	10月21日・11月2・8・16日 12月26日

14	第66回総合福祉大会	山口市	10月27日
15	サービス管理責任者研修	山口市	11月1日・12月21日
16	第28回山口県知的障がい施設福祉振興大会	長門市	11月17日
17	施設交流実習	山口市	12月7日・8日
18	山口県立大学客員教授特別講義	山口市	12月9日
19	強度行動障害支援者養成基礎研修	山口市	平成29年1月12日・13日
20	地域医療連携セミナー	宇部市	平成29年3月11日

② 内部研修（復命・伝達を兼ねる）

・「セルフマネジメントについて」

講師 第2宮野の里職員

場所 第2宮野の里支援員室

日時 10月7日

・「虐待防止について」

講師 第2宮野の里職員

場所 第2宮野の里支援員室

日時 12月2日

1.1 職員の健康管理

(1) 健康診断

夜勤職員（8名）：年2回実施

その他職員（15名）：年1回実施

(2) 栄養士・調理員の保菌検査・・・毎月実施

(3) インフルエンザ 予防接種・・・・・・21名接種